

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：村松 海輝

書いた日：2023年11月1日

よりみちコラムの11月号を担当させていただき、岩手県立療育センターの村松です。出勤路などでタイヤ交換の広告を目にする機会が多くなり、冬が近づいていることを感じながら過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は発達障害領域のトピックスを2点お伝えさせていただきます。

1.「全国的なトピックス」です。

文部科学省が通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査をした結果、「学習面または行動面で著しい困難を示す」児童は2022年の調査で8.8%を示しました。10年前の2011年が6.5%であり、少子高齢化社会が進む中で義務教育を受けるこどもたちが減少しているものの、特別な教育的支援を必要とする児童は増加していることが明らかになりました。県内も同様に発達のサポートを必要とする児童は増えている現状があります。詳細については文部科学省のHPをご確認ください。

2.「県内の療育のトピックス」です。

2022年9月15日「岩手県医療的ケア児支援センター」が岩手県保健福祉部障がい保健福祉課に開設されました。相談の窓口はみちのく療育園メディカルセンターです。医療的ケア児とは日常生活および社会参加を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童です。県内でも在宅で過ごされている医療的ケア児が増えており、作業療法士としての関わりも求められています。詳細については添付しているリーフレットや岩手県のHPをご確認ください。

最後になりますが近年、作業療法士が児童発達支援事業所や放課後等デイサービスなどで働く方が急増しており、発達のサポートが必要なお子さん、医療的ケア児を療育施設のみでなく、地域で関わることを求められています。子どもたちのより良い発達のためには職場や職種の垣根を越えた支援が必要であり、「よこならび」の関係で連携していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

岩手県医療的ケア児支援センター

～センターが目指すもの～

いわてに「生まれてよかった」
いわてで「生んでよかった」

医療的ケアが必要なお子さんとご家族が望む地域で暮らすための橋渡しをします

相談窓口
(月～金 9:30～16:00 祝日・お盆・年末年始はお休み)

社会福祉法人新生命 医療型障害児入所施設
みちのく療育園メディカルセンター
〒028-3623 紫波郡矢町煙山24-1

問い合わせ
メールフォーム

スマートフォン、タブレットで
右記のQRコードを採取

メール
shien@icare-iwate.jp

電話
019-611-0610

来所相談は
予約制

※ 電話、メールの返信は相談窓口の営業時間内にて対応いたします
※ 相談受付の際に「岩手県医療的ケア児支援センター業務に係る個人情報保護方針」に同意をいただきます

相談の流れ



医療的ケア児等コーディネーターとは？

【県のコーディネーター】
センターに所属し、関係機関への専門的な助言、情報提供や医療的ケアが必要なお子さんとご家族への相談対応、情報提供を行います

【地域のコーディネーター】
相談支援事業所等に所属し、医療・福祉サービス、入園、入学等を地域の支援機関と包括的にコーディネートします

【岩手県医療的ケア児支援センター】
相談支援等業務委託機関 社会福祉法人 新生命
医療的ケア児等コーディネーター研修業務委託機関 社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団